

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-516900(P2006-516900A)

【公表日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-027

【出願番号】特願2006-502732(P2006-502732)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/37 (2006.01)

C 1 2 N 9/50 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/37 Z N A

C 1 2 N 9/50

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月5日(2007.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記サンプルが、生物学的液体、その画分、生物学的組織、その抽出物、そのような抽出物の画分、インビトロ(in vitro)若しくはインビボ(in vivo)で成長する細胞、組織又は有機体によってコンディショニングされた培養培地、そのような培養培地の抽出物、及びそのような培養培地の画分からなる群から選択される、請求項1又は2に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記プロテアーゼが、アグリカナーゼ(ADAM TS4)、ADAM TS1、TACE、BACE、BACE 1、BACE 2、HIVプロテアーゼ及びC型肝炎プロテアーゼから成る群から選択される、請求項4に記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

アッセイされるべきプロテアーゼは任意のプロテアーゼであることができるが、好ましくは、プロテアーゼは、セリンプロテアーゼ、システインプロテアーゼ、アスパルチルプロテアーゼ及びメタロプロテアーゼから成る群から選択され、そしてより好ましくは、それは、アグリカナーゼ(ADAM TS4)、ADAM TS1、TACE(ADAM-17)、BACE、BACE 1、BACE2、HIVプロテアーゼ及びC型肝炎プロテアーゼから成る群から選択される。測定することが恐ら

く興味深くありうるプロテアーゼの完全でない一覧が、表 2 で見つけられうる。